

furukawa sci information magazine!!

vol.18
2019.11

飛騨古川を応援する情報誌

く
る
どっ

今回の読みどころ

女性として
思いつくこと、
考えること、
できること。

自分のやりたいコトを
仕事にしていこうと決めた日
強い決意と沸き上がる熱意
不安がないと言えば嘘になるが
前へと突き進んだから今がある
今回は開業に至る道のりや
自分の想いを語ってくれた
女性起業家を取材してきました。



Special Edition
巻頭特集
わたしの
起業スタイル



MY WORK STYLE
01

岡野
麻里

リサーチャー
Mari Okano

住／ 飛騨市古川町向町 1-3-3
電／ 080-6614-9037

Special Edition

MY WORK STYLE

わたしの起業スタイル



ある記事に「起業しようと思った理由」が載っていました。それは、起業を検討したアイデアが「できること」「やりたいこと」「お金になること」という3つのポイントを満たしているということでした。「できること」とは、自分が得意だったこと、強みだと自負していること、知識、スキル・資格、ノウハウのことです。「やりたいこと」とは、まさに関心を持っていたことで、好きなこと、趣味、抱いていた夢などのことです。「お金になること」はその言葉の通り、お金を払ってくれる人がいるかどうかです。この3つを検証してみて、上手くいくのではないかと結論に至った時に、本格的に起業へと踏み出したということです。(ゆる起業® 完全ガイドより)

もちろん、起業までの道のりは分からないことばかりで、周囲の人達や専門家に相談してみたり、Webで情報収集をしてみたりと、試行錯誤が付いて回ったはずです。でも、自分の得意とすることがやりたいことになり、それが誰かの役に立ったり、喜んでいただける。そして仕事として成り立ち自分の収入となっていく。今回は、自分と成功を信じて前に進んだ3人の女性起業家を取材してきました。



事業を始めたきっかけは何ですか？

以前、東京の大企業に勤めていた頃、リストラ対象になりました。もともと仕事物が足りないと思っていたタイミングだったこともあり決断し退職しました。何かを変えるには思いっきり変えてみないと変わらないと思いが強かったです。そんな時、丸の内で開催していた朝活動に参加し知り合ったのが(株)美ら地球の山田拓さんでした。再就職先を探している時に、山田さんの会社で求人を出していることを知り、早速応募して採用となりました。市の受託事業で町づくり協議会の運営にたずさわっているうちに、古川が好きになりました。自分で事業を始めたのは、自由を選べ、自由が利く、形にはまらないのが良いからでしょう。

業務内容について教えてください。

ものを売っていくために必要な現状把握と、あるべき姿に近づけるためにどうしたらよいかの道筋を考えます。デスクリサーチやアンケート、インタビューなどのリサーチをしてその結果を分析することで「あるべき姿」に近づけるための提案をしています。

女性ならではの視点や観点など、事業に活かしている事などありますか？

特に女性だからと意識はしていませんが、古川へ移住して頑張っている姿が楽しそうだなと言われ、ほかの人に勇気を与えたのかなって思います。

今後はどのように事業展開しようと思っていますか？

いまウェブデザインの勉強をしています。マーケティング視点を盛り込んで作られているウェブ 사이트が意外と少ないと感じたので、マーケティング視点を取り入れたウェブ構築ができるようになりたいと思って始めました。

最後に一言お願いします。

田舎にはない分野の仕事だと思いますが、どこにいてもできる仕事です。仕事が無いから田舎には帰らないという人でもできる仕事なので活路が開けるし、人不足解消や副業もできますよ。

Question?

古川にきてどう思ったか？

きれいな町。そうじが行き届いている。古川時間？なんでしょうか。皆さんの行動時間が早いです。

好きなこと・好きなものは？

インドア派なんです。趣味は手芸刺繍や編み物。古川にきてこの仕事をするようになってから、趣味を楽しむ時間ができました。



岡野さんの刺繍作品

MY WORK STYLE
03

森田 佑奈
アイデザイナー
Yuna Morita

merry
住／飛騨市古川町新栄町 6-27
電／090-2681-7804
休／月曜日(お休みでも可能なら開きます)

事業を始めたきっかけは何ですか？

H30年3月にオープンしました。以前は富山のお店に勤めていましたが、お客様との会話の中で「飛騨から来たよ!」という方が結構みえたんです。その頃から地元古川でまつ毛エクステンションのお店を開こうと考えていました。父母もお店を持つことに大賛成で、自宅の空いた和室を改装してお店を構えたらと言ってくれて、思い通りのお店を開くことができました。

起業して大変だったことを教えてください。

勤めていた時は技術職が主な仕事だったので、独立すればすべて自分でやらなくてはいいけないことは分かっていたけど、特に

商品発注や在庫の管理、経理関係はほとんど知識が無かったので、戸惑いも多かったです。今は、在庫の目途もわかり、経理も順調です。

女性ならではの視点や観点など、事業に活かしている事などありますか？

お店を構えるのに、内装や外装にこだわりを持って造りました。カウンターテーブルの高さもちょうど良いところを探って決定し大工さんに頼んだりして、落ち着いた雰囲気のカフェのイメージを意識して造りました。ふんわりとした香りと海の波のイメージ音楽が眠りを誘うのか、ほとんどのお客様が眠りにつきますね。

自身のまつ毛一本一本に接着剤でエクステンションを接着します。

今後はどのように事業展開しようと思っていますか？

歯のホワイトニングを始めようと準備しているところです。見た目の美しさだけでなく、口臭や歯槽膿漏などにも効果があります。老若男女問わず来ていただきたいですね。

若い世代から見た古川は？古川の好きなところ

古川の人は心があたたかい感じがします。

休日の過ごし方や趣味

カフェ巡りが大好きです。おいしいコーヒーを飲みながら、おしゃれなお店の雰囲気を楽しんだり、フラワーショップに行って飾り方やドライフラワーなど見たりして、お店の飾りの参考にしています。



MY WORK STYLE
02

高橋 美津子
音楽講師
Mitsuko Takahashi

MMS
住／飛騨市古川町向町 3-2-8
電／0577-73-5584

事業を始めたきっかけは何ですか？

もともとヤマハ音楽教室の講師をしていましたが、自然のなりゆきで自宅で教室を開くことになりました。1981年に開業して37年が経ちます。両親が他界して自宅を建て直すときに、音楽教室を完備した建物にしました。ピアノを設置している部屋は床の強化と二重サッシになっていて、さらにその中に防音室を設置し、夜でも安心して練習ができるようになっています。

起業して大変だったことを教えてください。

年に何回か自分のためのレッスンに名古屋へ行ったり、名古屋の先生に来ていただいて、技術や指導の仕方などの勉強をしています。生徒一人一人、進み具合

や飲み込みも違うので、教材通りにはならないですね。生徒ごとのペースをつかみ、向き合い楽しくレッスンすることを一番大切に考えていますね。

女性ならではの視点や観点など、事業に活かしている事などありますか？

お花や植物が好きで、頂くことが多いですね。実はその植物に言葉かけをしているんですよ。レッスン室の植物は音楽を聴いていることになりましたね。(笑)「和顔愛語」…笑顔で良い言葉を遣うという意味で、その言葉が好きで心がけています。

特に力を入れていることなどはありますか？

音楽ボランティアとして月に一回、寿楽苑に行って、歌遊びや手遊びなどで、おじいちゃんおば



毎年開催している発表会
(写真は中・高生の部)

あちゃんと遊んでできます。音楽はみんなを元気にしてくれますね。まずは目の前のことを一生懸命やるが一番です。

最後に一言お願いします。

継続は力なりです。少しずつでもよいので、長く続け、嫌にならないう、嫌いにさせないことが大事だと思います。いったん辞めても、またやりたいと思えるから。

休日の過ごし方や趣味など

休み無しです。平日昼間は大人のレッスンがあり、コンサートが近いと自身の練習も必要。若いころは多趣味で、習字、お茶、生け花、英語やドイツ語教室、ヨガ、登山、パソコン教室など何でもチャレンジしていました。今は仕事オンリーで、生徒たちの発表会の演出を工夫して手掛けることが楽しみになっています。

古川の食べ物は何が好き？

納豆、お菓子、野菜、どれも大好きでなんでも食べます。

古川の好きなところは？

自然が多いし、人柄がやさしいですね。交流センターができて、色々な文化や芸術に接することが多くなったと思います。

Question?



granowa photo

granowa photo

事業主/糸井 奈緒美

業/フォトグラファー
住/飛騨市古川町中野 516
スタジオ: 高山市上岡本町 3-362 3F
電/ 090-6614-9037
営/ 10:00 ~ 15:00
休/ 水曜日



シンプル × ホワイトで
2人の愛のカタチを写真に残しませんか？

フリーカメラマンとして活動しながら結婚式の専属カメラマンもしていた糸井さん。結婚式は人生の節目でありとても大切であるという思いを持ち続け、ついに念願だったスタジオを構えることができました。普通、写真スタジオに窓は無いのですが、このスタジオは窓だらけ。白を基調とした床や壁に自然の光を上手に取り入れ、明るく開放的な雰囲気の中で撮影をします。

ウエディング婚はもちろんですが、LGBT婚や結婚記念日、マタニティフォトをメインとしたスタジオです。より良い写真が撮れるようドレスやヘアメイクなども充実しています。

気軽に式を挙げたいと願うお二人にとって、ここが結婚式場となります。式のお手伝いをする中でお二人が喜び、ご家族から祝福の拍手が沸き上がる。それが自身の喜びにも繋がる。カメラマンというより神父の気分になります！と元氣よく話して下さいました。



駅前の食堂といったら
「さか江家食堂」

Sakaeya Syokudo



さか江家食堂

代表者/大下 昇

業/飲食業
住/飛騨市古川町金森町 12-1
電/ 0577-73-2931
営/ 10:00 ~ 17:00
休/ 水曜日



先代が16歳の時東京へ行き、11年間飲食店で修行し飛騨に帰ってきました。東京で働く人達を見て駅前の立地に目をつけ、高山全線が開通した翌年の昭和10年、駅前にさか江家食堂を開店しました。最初はうどんとそばだけでしたが、昭和20年頃には当時では珍しい中華そばを開発しました。さっぱりした醤油味は今もその頃と同じ味を引き継いでいます。

先代が早くに亡くなり、27歳で店を引き継ぐ事になった店主の昇さん。奥様の支えがあったからこそ、これで話して下さいました。また3人の娘さん達も手伝ってくれたり、メニューを考えたりと細かい所まで気を配ってくれます。その一つにメニューにミニがあること、子供や女性、年配の方にはとても有難いサイズです。

観光客だけでなく、地元の常連さんも多いさか江家食堂。味だけではなく居心地の良い店内、またご家族の温かい人柄に会いに行かれる方も多いのではないのかなあと感じました。



地元食材にこだわった
「もち」を作っています



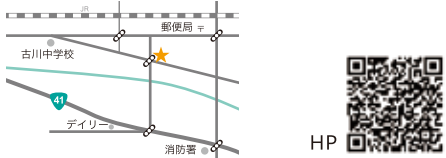
Kamino Kurabu



かみの俱樂部

代表/谷口 美代子

業/菓子製造
住/飛騨市古川町下気多 63-14
電/ 090-2183-0825(代表 谷口)
080-8978-0029(竹原)
営/ 8:30 ~ 12:00 休/不定期



上野地区の女性会OBに声を掛けて集まった女性6人で、餅などの製造販売をしています。地元産のもち米で餅を作って売ろうと4年前に始めたそうです。

加工場では一度に一升〜二升以上の餅をつくための専用の機械が揃えてあります。自分で餅をつく家庭が少なくなってきたこともあって定期的に購入されるお客様や、お祭りなどのお赤飯も注文が多いそうです。季節物のほっ葉餅や、もち餅も人気商品となっています。また、農業まつりなど市内のイベントで販売する五平餅や味ご飯は大人気でいつも完売しています。こだわりは何と言っても地元食材を使用している事。もち米、ヨモギ、トチなどすべて地元産を使用し、五平餅のタレの「あぐらえ」は自分たちで栽培しています。

平均年齢が70歳とは思えない元氣な女性達の夢は、「儲かったらいつかはハワイ旅行！」と笑顔で語って下さいました。



駒古道具店 ガラス美術館 駒

代表／駒 侑記扶

業／古道具販売・ガラス美術館
住／飛騨市古川町三之町1-17
電／0577-73-3001
営／古道具店：9：00～20：00
美術館：10：00～17：00
休／古道具店：不定休
美術館：12月～2月は土日のみ営業



貴重な骨董品の数々に
心癒されホッと一息♪

古川の街並みに溶け込んだ大正ロマンを感じさせる外観の駒古道具屋さん。大正時代にお祖父様が開業されました。ご主人は15歳で京都の古道具屋へ丁稚奉公に行き、8年間修業してきたのち帰郷し、現在のお店を引き継がれました。平成5年にはガラス美術館も開店し併せて営業しています。ご主人が長年かけて集めた貴重なアンティーク製品の品々がキュッと詰まった古道具店と美術館です。

いつも心掛けていることは、時代ごとの好みや流行に遅れないよう、その時代に合った素敵な品々を見極め、お客様にお届けする事とお話しくださいました。

ご主人は、昭和57年から古川祭保存会に携わってみえます。古川の町と古川祭を大切に思い、若い世代の人達に少しでも日本文化や歴史に興味を持ってもらい、守っていく事の大切さを理解して頂けるよう活動しています、とお話下さいました。



有限会社 らくよう工芸

代表／中西 大輔

業／木製家具製造
住／飛騨市古川町沼町650-2
電／0577-73-5227
FAX／0577-73-3185
営／8：00～17：00
休／第2,4土曜日、日曜日、祝祭日



家庭用のダイニング・リビング用イスを製造し問屋を通じて国内に販売しています。昭和46年に創業した当初は看板などを作っていました。平成10年頃から木製家具の製造に替わっていきました。

当社で作られたイスの座面に触れてみると、滑りにくい塗装が施されていることが分かります。背もたれなど他のところは普通の塗装にして変化をもたせることで、機能性と使いやすさを実現しているそうです。この塗装は大手でも採用されていますが、「多分、飛騨ではうちが最初に始めたんですよ」と控えめにおっしゃいました。創業から長年にわたって培われている塗装の技術・知識が生かされていると感じました。

少子高齢化の進行で、今後はさらに家具が売れなくなると予想されます。でもモノ作りが好きで、木でモノを作ること続けていきたい気持ちが変わりません。今後は飛騨産の木材を使った製品の製造・販売も考えている、とお話下さいました。



インフラ整備も災害対応も
「人」の力なり！



Tajika Koumuten



株式会社 田近工務店

代表取締役／田近 正英

業／建設業・砂利採取業・採石業
住／(本社)飛騨市古川町杉崎1235番地
電／0577-73-2182
営／8：00～17：00
休／第2・第4土曜日、毎週日曜日 祭日



㈱田近工務店さんは飛騨では数少ない、生コンクリート用骨材を生産する「プラント」設備を持つ、建設土木企業です。「骨材」とは生コンクリートを作る時に使われる「石」という資源を使った建設資材で、実は電気やガスのようなエネルギーと同じように生活を支える大事な素材です。生コン用骨材として粗砂および3種類の砂利を飛騨地域の主要生コン会社に供給するという重要な役割を果たしながら、地域の道路や橋の建設などインフラ整備を行う主要企業としての役割も担っています。

6月には「ぎふ建設人材育成リーディング企業」として認定を受けました。建設業に従事する若い人材が不足している中、人を大切にする社風が実は地域のインフラ整備を支え、それが私たちの生活を確かに支えているのだと強く感じました。



機械の事で困ったら
一度ご相談下さい！



Tanaka Seisakujo



田中製作所

代表／田中 政明

業／工作機械器具、一般機械器具修理、整備
住／飛騨市古川町沼町732
電／0577-73-6296
FAX／0577-73-6296
休／日曜日(お客様の都合により変更可)



「うちは何でも屋なんだ。」とおっしゃるご主人ですが、実はすぐ腕の持ち主なんです。この仕事をやるようになったきっかけは、親戚の木工所に入りしていた産業機械の専門商社さんと出会い、機械修理整備の仕事の依頼を受ける様になった事からだそうです。現在は、機械修理はもちろん、電子配線や電送機械の修理、部品の製作、溶接など幅広い仕事をこなしています。大きい事業所から一般家庭のお客様まで色々な方面から仕事の依頼が来ます。常にお客様の要望に応えられるよう、日々試行錯誤しながら仕事に取り組んでいます。

現在は、子育て中の娘さんに事務を手伝ってもらいながら、二人三脚で頑張っているらしいです。若い時ほど無理はできないが、身体を大切にしながら大好きな旅行を楽しみに仕事をしていきますと笑顔でお話下さいました。



Furukawa
News Kiosk

有限会社 古川ニュース販売

事業主／水波 紘平

業／サービス業
住／飛騨市古川町向町 3-5-23
電／0577-73-2230
営／9：00～17：00
休／不定休



Facebook



Instagram



twitter



10代20代に新聞の魅力を知ってほしいと、1年半ほど前から、SNSの活用を始めました。専務が選ぶおススメ記事は地元の話題に特化してピックアップしているのだとか。記事に関する専務のコメントも注目です。新聞によって子どもたちの社会への関心を高めるきっかけにしたいと、新聞を教材として学校教育に役立てようという活動「NIE（エヌアイイー）」にも取り組みたいと思っています。

新聞のよさは「情報の正確性」だと社長が教えてくださいました。紙面をひろげてみることでたくさんさんの情報がまずは一度に目に入ります。世の中の現状を知らなければ未来を予測することはできないでしょう。手に取った人が世の中の現状をとらえて未来に向けて歩をすすめるため、今日も一日の一番はじめに入り人々に新聞を届け続けています。



Two Three

株式会社 ツースリー

代表取締役／藤中 誠

業／保険サービス業
住／本社：飛騨市古川町若宮二丁目 5-1
(高山営業所：高山市一之宮町 5264)
電／0577-62-8864 0577-53-3210
営／9：00～18：00
休／土・日曜日、祝日



以前勤めていた職場では自動車保険や車輦リースなどを担当し、保険代理店の仕事にやりがいを感じていました。開業のきっかけとなったのは、三井住友海上火災保険㈱に独立できる研修制度があることを知って、平成21年に研修生として入社。それから3年後の平成24年11月、㈱ツースリーを設立し現在に至ります。

ツースリーという社名の由来は、大好きな野球から引用したそうです。藤中さんは岐阜第一高校の野球部出身。「9回の表を終わって1対0、その裏ツーアウト満塁、カウントースリ、最後の1球が勝敗を分ける、もう後がない、やるしかない」という気持ちで皆様に全力投球で提案させていただいているんです、と、力強く語って下さいました。

現在、若宮町内に事務所を新築中で、11月4日にオープンします。お気軽に立ち寄って頂いて、なんでも相談してください、と頼もしい言葉をかけていただきました。



ご意見・ご感想をお聞かせ下さい

※ 該当する項目の番号を○で囲って下さい。

Q1. 飛騨古川でお気に入りの場所を教えてください。

Q2. 日頃、買い物に良く行くエリアは？ ※複数回答可

古川町 ・ 飛騨市内 ・ 高山市
富山 ・ 岐阜 ・ 名古屋 ・ その他()

Q3. 市外に出かける用事はなんですか？ ※複数回答可

日用品を買う ・ 服を買う ・ 遊びに行く
映画を見に行く ・ 市内に無いものを買う
その他()

Q4. 今号のご感想をお聞かせ下さい。

ちょっと町探検 ♪ ここはどこでしょう？

答え： _____ にある石碑

ご協力ありがとうございました。

ちょっと町探検 ♪ ここはどこでしょう？



雪国で春を想う石碑



雪が解けてきて芽が吹きはじめた春先。でもまた雪に覆われ冬に逆戻り。飛騨の斑雪の山々を眺めながら、春はまだかと待っています。石碑も人も春は待ち遠しいものです。

応募方法

この場所(住所や名称など)が分かった方は、左のハガキに答えを書いてお送り下さい。ぜひご意見ご感想をお願いします。多数のご応募、お待ちしております。

※切り
12/2
消印有効

正解者の中から抽選で5名の方に 『古川町商品券1,000円』をプレゼント!!

※発表は発送をもってかえさせていただきます。
※答えは※切り後、商工会掲示板および次号に掲載します。



前号の答え「是重にある堀田森の大イチョウ」でした。

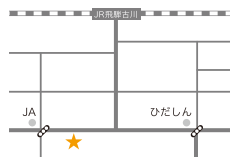
お便りのコーナー

「いつも楽しく見せて頂いてます」「地元のことがよく分かります」「古川の商店街のことが知りたい」「毎回散歩の度に大イチョウを横目に見ながら一万歩歩きます」等々コメントいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。



山腰楼 代表者／山腰 春雄

業／飲食店
住／飛騨市古川町殿町 10-22
電／0577-73-2883
営／11：30～14：00、17：00～21：00
休／不定休



郷土料理の老舗として地元の方々に知られている山腰楼の創業は大正三年。三代目である春雄さんは名古屋で修業を積み、料理の技を磨き上げてきました。会席料理や慶事の御料理、又、観光客の昼食として好評の在郷(ざいご)料理などをお出ししています。「お客様のご要望に合わせて、季節の素材を組み合わせながら最高のおもてなしを心がけています」と語って下さいました。食材は、高山の生鮮市場から飛騨の旬の素材を仕入れ、季節を感じる味に仕上げます。

玄関を入ると、廊下や各部屋の随所に飛騨の匠の技を見ることが出来ます。同じ柄が一つも無い障子戸、三味線とハチを表現した床の間など伝統の技と遊び心を楽しんでいただけます。会食前につるいでいただく部屋には、昔ながらの囲炉裏が釣り下がっていてどこか懐かしさも。郷愁を感じる雰囲気の中、おもてなしの心をいただいで下さい。



Yamakoshi



こんな趣味 持ってます

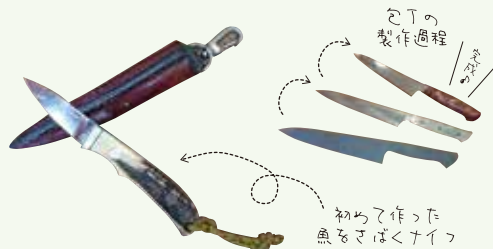
人気連載中!

美容室 パスタイム

店主：岩佐 守

×

カスタムナイフ



美容室パスタイム

住／飛騨市古川町幸栄町6-11

電／0577-73-4505

HP／http://www.to1.jp/



多いときは
年間に20本以上
作ったことも!

気長に待って
いただければ
ナイフ作ります。

昭和63年7月にオープンした美容室パスタイム。平成17年に改築した今のお店は、薪ストーブのある落ち着いた雰囲気になっています。もともと溪流釣りが好きな岩佐さんは、切れ味の悪いナイフで魚をさばいていたそうです。何か良いものがないかと探していた時、テレビでナイフを手作りしているところが流れ、これだ!と思ったそうです。ハウツー本を買ってナイフ作りを独学で勉強。厚紙に作りたいナイフの図面を描き鋼材に写しカットします。丁寧に削りを繰り返し焼入れの工程を経て、最後は二枚のハンドル材で挟みネジで締めて持ち手を作り完成です。ナイフ作りを通じてたくさんの方と知り合う中で、プロのナイフメーカーとの出会いがありました。色々と話し込んでいくうちに、ナイフ作りの技術を教えてくださることになったそうです。今では、たくさんの知識や技術を身に付けて、ナイフや包丁をはじめ、りんごの皮むきや鉛筆削りなどいろんな種類のナイフに命を吹き込んでいます。

ナイフ作りは「無になって夢中になれる時間」
寸分の狂いが大きく影響してしまう繊細な作業に
つつい時間経つのを忘れてしまいます

ひとこと編集後記

●朝早くても陰しい現場でも今日も頑張ってくださいている方がいる。本当に「おかげさま」を感じる取材でした。●昔は当たり前と思っていたことがだんだんとすたれていくのは、時代の流れですが寂しさを感じます。●日本文化を大切に思う気持ちが古川の街並みを作っている。守りたい残したいと思っている人達がいるからこそ伝統文化が守られ維持されている事を改めて感じました。●事業所さんを取材させて頂く有難さを実感した18号でした。忙しいのに時間を作って下さって感謝です。●居心地の良い場所、あたたかい雰囲気、家族だから出せる空間がありました。自分のできること・やりたいことが、誰かの役に立つ!それが、なかなか見つかりません。



狐の「おこんちゃん」 お気に入り紹介♪

Okon's Favorite Things

優しい感触と 素朴な美しさの —— 山中和紙 ——

あんきに癒しなう



山中和紙の名は飛騨紙(ひだがみ)の産地の中で、いちばん山の中で生産されていたことから付いたと言われている、およそ800年前の鎌倉時代から変わらぬ製法で作られている和紙だよ。身の凍るような寒い冬に、楮(こうぞ)っていう植物の剥いだ皮を冷水に浸け雪上にさらす、それを何度も繰り返して自然漂白を行うことで茶の色が抜けていくんだって。山中和紙の原料である楮の色や繊維を生かしたナチュラルな風合いの便せんや葉書、しおりなどが人気なんだ。しかも、山中和紙はきめが細かいから、インクジェットプリンターで文字や写真をプリントすることも出来るんだって。厳しい自然に育まれた山中和紙、飛騨の四季の中で生きる山中和紙。ずっとずっと残していきたいね。(手すき職人：柏木一枝さん)

飛騨古川 さくら物産館

[フリースポット設置店]

住／古川町三之町 2-20[真宗寺様向かい]

電／0577-73-7770

FAX／0577-73-7771

営／9:00～16:30 休／木曜日



発行

古川町商工会 ☎ 0577-73-2624

〒509-4221 岐阜県飛騨市古川町若宮2丁目1-66

☎ http://furukawasci.net フェイスブックページ 見てね!

おそれ入ります
63円切手
お貼り下さい

509-4221

岐阜県飛騨市古川町若宮2-1-66

古川町商工会

情報誌「ぐるっと」行

〒		—	
住所			
氏名			
電話番号			
年代	代	性別	男 ・ 女

※個人情報は商品発送に使用するほか、統計資料作成に利用する以外、外部には一切流出しません。